

令和7年度 こどもり学園（小学校） 経営方針

「こどもり学園」教育目標

志を持って、さらなる高みを目指す児童・生徒

1 経営の基本方針

こどもは、「分かる喜び・できる喜び・使える喜び」を体感することにより、学習に対する意欲を持ちます。学校は、こどもの学習意欲を喚起して、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓いていけるよう、知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開することが重要です。

なお、教育活動を進めるに当たっては、小中一貫教育校設立の趣旨を踏まえ、こども一人一人の「学力・成長・居場所の保障」が学校の責務であることを教職員全員が常に自覚して、教育活動の質的向上を図ります。

そのために、一人一人の個性や実態を把握しながら、かしこく、ゆたかに、たくましく生きていくことのできるこどもの育成を目指して、児童・家庭・地域から信頼される学校づくりを推進します。

2 教育目標・努力目標

〈教育目標〉

「かしこく・ゆたかに・たくましく」学ぶ児童

〈努力目標〉

(知) みんなと学び合い、すすんで課題を解決する子

(徳) 夢や希望をもち、友だちと共によりよく生きる子

(体) 心と体の健康と安全を守り、元気に運動する子

3 経営目標

(1) めざすこども像

- ① めあてに向かって、じぶんからすすんで学ぶ子
- ② いのちを大切にし、じぶんもほかも思いやる子
- ③ くじけずに、前向きに健康や運動に取り組む子

(2) めざす教師像

- ① 「主体的・対話的で深い学び」をとおして授業改善を図る教師
- ② 経営参画の意識を持ち、組織的・協働的に職務に取り組む教師
- ③ 危機管理意識を持ち、こども、保護者、地域から信頼される教師

(3) めざす学校像

- ① こどもにとって、明るく夢が育まれていく学校
- ② 教職員にとって、やりがいや活力が満ちている学校
- ③ 保護者や地域にとって、親しみや信頼があふれる学校

4 指導の重点

努力目標 1 ; 『みんなと学び合い、すすんで課題を解決する子』の育成

- (1) 一人一人のこどもの実態に応じたきめ細やかな指導
 - ① 多面的・多角的な児童理解に基づいた指導計画と評価の工夫改善
 - ② 知識及び技能の習得・定着に向けた指導方法や指導体制の工夫
 - ③ タブレット端末や学校図書館等の利活用とIT等の指導形態の工夫
- (2) 主体的に学習に取り組む態度の育成
 - ① 学ぶ意欲や向上心を育み、成就感を味わえる授業づくり
 - ② 他者との関わり合いの中で、新たな価値を創造できる力の向上への支援
 - ③ 教科の特質を踏まえた9か年を見通した学び方と家庭学習の充実への支援

努力目標 2 ; 『夢や希望をもち、友だちと共によりよく生きる子』の育成

- (1) 相手を思いやる心の育成
 - ① 道徳の時間を要とした適切な判断力や相手を思いやる心の育成
 - ② 互いを認め合い、自主的な態度や自治的な意識を高める特別活動の推進
 - ③ 今を未来に繋げ、キャリア教育をとおした生き方指導の推進
- (2) 学級経営の充実
 - ① 教師とこども、こどもとこどもが信頼し合い、認め合える学級づくり
 - ② 学級の一員としての所属感を持たせ、よりよい人間関係の構築
 - ③ 規範意識の醸成と自己有用感を高める体験的活動の充実

努力目標 3 ; 『心と体の健康や安全を守り、元気に運動する子』の育成

- (1) 健康・運動に関する知識の習得と意欲付け
 - ① 自他の健康と安全に気を配り、ルールとマナーを尊重する態度の育成
 - ② 心と体の健康に向け、実態に基づいた目標設定と学校全体の取組の充実
 - ③ 楽しみながら運動する子を育てるための体育科の充実や業間等の利活用
- (2) 困難を乗り越える実践意欲と態度の育成
 - ① 困難を乗り越えようとする力の育成と保健安全指導の充実
 - ② 危険予知能力・危険回避能力の育成に向けた安全教育の推進
 - ③ 基本的な生活習慣の確立に向けた家庭や地域との連携・協働

5 指導上の配慮事項

- ◎ 言葉を大切に、あたたかさや厳しさのある指導
- ◎ 保護者や地域と連携・協働し、地域とともにある学校
- ◎ 報告・連絡・相談・確認を密に
- ◎ 共通理解を基に、組織の一員として協働的に
- ◎ 明るく、楽しく、語り合える職員室

6 小中一貫教育校の充実・推進に向けて

- ① 小中一貫教育校に係る成果と課題の把握、協働指導体制の強化
- ② 小中の緊密な情報交換・共有による連携・協働の充実
- ③ 小中一貫教育校に係る実践の情報共有と情報発信